

# 公立病院改革プランの概要

富山県

かみいち総合病院

平成21年4月

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	富山県 上市町						
プ ラ ン の 名 称	富山県上市町立かみいち総合病院経営健全化計画						
策 定 日	平成 21年 3月 31日						
対 象 期 間	平成 21年度 ～ 平成 25年度						
病院の現状	病 院 名	かみいち総合病院					
	所 在 地	富山県 中新川郡 上市町					
	病 床 数	219床(一般159床 精神60床)					
	診 療 科 目	内科・小児科・神経精神科・外科・胃腸科・整形外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・泌尿器科・脳神経外科・血管外科・麻酔科					
公立病院として今後果たすべき役割(概要)	<p>①富山医療圏の中新川郡内で唯一の公立病院として、第二次救急「病院群輪番制病院」の指定を受け、近隣公的病院と連携しつつ地域の救急医療の中核的役割を担う。</p> <p>②保健、医療、福祉の地域連携を深め、地域包括医療・ケアの拠点として、地域連携室を設置し在宅医療、訪問看護・ケア、特定健診・人間ドック、へき地医療などを積極的に推進する。</p> <p>③安心して子供を産み育てることができるよう産婦人科、小児科の医師の複数化を図り24時間初期医療体制を整備するなど少子化・子育て対策を支援する。</p> <p>④公立病院として地域において果たすべき役割を踏まえ不足している医療或不採算の医療を提供するとともに健全経営が両立できるよう増収・増患を目指した特色あるセンター構想(消化器センター、小児・産科(こども)センター、心のケアセンター、高齢者のための訪問診療・訪問看護センター、血管センター)について引き続き医師等必要な人材確保に努めつつ具体的に検討を進めたい。</p> <p>⑤高齢者等に必要な全人的・包括医療を推進するため、今後、総合診療医を確保し在宅医療を担う(仮称)家庭医療センターを併設の上、「総合診療」を確立し総合的医療と専門的医療のバランスのとれた医療を提供する。かかりつけ医から専門医まで連携のとれたシームレスな地域完結型医療、地域循環型医療を推進する。</p>						
一般会計における経費負担の考え方(繰出基準の概要)	<p>①病院の建設改良に要する経費(事業債元利償還金の2/3～1/2(繰出基準に準ずる))</p> <p>②救急医療に要する経費(地方交付税算定相当額)</p> <p>③高度医療機器に要する経費(企業債元利償還額等の地方交付税算定相当額)</p> <p>④研究研修に要する経費の1/2</p> <p>⑤共済追加費用、基礎年金拠出金(地方交付税算定相当額)</p> <p>⑥児童手当に要する経費(地方交付税算定相当額)</p> <p>⑦院内保育所に要する経費(地方交付税算定相当額)</p> <p>⑧精神科病床に要する経費(地方交付税算定相当額)</p>						
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考
	経常収支比率	92.6	89.2	92.9	98.7	99.3	
	職員給与費比率	60.7	60.9	60.2	52.9	52.2	
	病床利用率(一般)	77.9	78.0	79.0	80.0	81.0	
	平均在院日数	19.0	18.0	18.0	18.0	18.0	
	医業収支比率	87.0	86.1	88.7	94.8	95.8	
	不良債務比率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	患者1人1日当たり診療収入(入院)	24,210	25,670	26,247	28,765	28,764	
	患者1人1日当たり診療収入(外来)	8,402	8,297	8,769	9,824	9,953	
	職員1人1日当たり診療収入(医師)	295,064	324,985	341,102	342,893	345,698	
	職員1人1日当たり診療収入(看護師)	56,991	58,185	61,154	69,671	72,996	
患者1人1日当たり薬品費	2,206	2,265	2,224	3,002	3,111		
上記目標数値設定の考え方	平成25年度における収支均衡を図る。 (経常黒字化の目標年度: 25年度)						

				団体名 (病院名)	富山県 上市町 (かみいち総合病院)		
公立病院としての医療機能に係る 数値目標(主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	備考	
	1日平均患者数(入院)	178.0	177.4	181.0	187.0	190.0	
	1日平均患者数(外来)	482.2	495.5	501.0	517.5	536.8	
	入院患者1000人当たり手術件数	8.0	10.0	12.0	14.0	16.0	
	紹介率(%)	9.1	10.0	16.7	23.3	30.0	
数値目標達成に向けての 具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	医療事務、給食業務、検体検査、施設管理等これまでに業務の委託化を進めるなど経営の効率化を図ってきているが、さらに必要と判断されれば検討を行う。(平成23年度以降)					
	事業規模・形態の見直し	① 公営企業法一部適用から全部適用等への形態の見直しを検討する(平成23年度以降) ② 精神科病床の規模の見直しを行う。(平成23年度以降)60床⇒40床					
	経費削減・抑制対策	① 医事委託業務の拡大による正規職員の削減(平成22年～23年度:2名減員) ② 時間外勤務の抑制 ③ 医薬材料費抑制 ④ 委託業務内容及び金額の見直し					
	収入増加・確保対策	① 医師の増員(21年度3名:22年度2名:23年度1名) ② 亜急性期病床の増床(8床⇒12床) ③ 精神科作業療法 ④ フィルムレス化に伴う電子画像管理加算 ⑤ 土曜日、夕方診療の実施 ⑥ 医師事務作業補助体制加算の取得 ⑦ 臨床試験(治験)の実施 ⑧ 健診・ドック利用者の拡大					
	その他						
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の 特記事項	病床利用率の状況	17年度	80.0%	18年度	76.1%	19年度	77.9%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	平成17年度、平成18年度、平成19年度のいずれの年も病床利用率は70%を超えており、病床利用率による病床数の見直しは、行わないものとする。					

団体名  
(病院名)

富山県 上市町  
(かみいち総合病院)

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	当病院が所在する富山県富山医療圏には、公立及び公的病院が7病院所在している。 (富山県立中央病院(富山市810床)富山大学付属病院(富山市612床)富山市民病院(富山市626床)富山赤十字病院(富山市485床)済生会富山病院(富山市250床)厚生連滑川病院(滑川市279床)かみいち総合病院(上市町219床))		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	県による医療計画においては、特に再編、ネットワーク化について示されていない。各々の病院において再編・ネットワーク化について検討されるべきとされている。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<内容> 富山県医療計画等に基づき必要と判断されれば、富山県並びに関係機関と協議のうえ検討する。	
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 診療所化	<input type="checkbox"/> 老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	有識者、住民代表を加えた評価委員会を設置のうえ、改革プランの実施状況の点検・評価を年1回行う。		
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年10月頃		
その他特記事項				

(別紙)

団体名 (病院名)	上市町 (かみいち総合病院)
--------------	-------------------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医 業 収 益 a	2784	2801	2894	3035	3425	3578
	(1) 料 金 収 入	2560	2570	2665	2801	3191	3344
	(2) そ の 他	224	231	229	234	234	234
	うち他会計負担金	76	76	79	82	82	82
	2. 医 業 外 収 益	375	341	237	272	276	263
	(1) 他会計負担金・補助金	311	295	211	243	247	234
	(2) 国(県)補助金	12	12	13	15	15	15
	(3) そ の 他	52	34	13	14	14	14
	入 経 常 収 益 (A)	3159	3142	3131	3307	3701	3841
	支	1. 医 業 費 用 b	3215	3221	3361	3421	3611
(1) 職 員 給 与 費 c		1673	1700	1761	1826	1812	1867
(2) 材 料 費		595	599	633	666	845	903
(3) 経 費		537	510	526	529	560	583
(4) 減 価 償 却 費		400	367	419	379	361	349
(5) そ の 他		10	45	22	21	33	33
2. 医 業 外 費 用		172	172	148	140	137	132
(1) 支 払 利 息		93	92	96	93	87	82
(2) そ の 他		79	80	52	47	50	50
出 経 常 費 用 (B)		3387	3393	3509	3561	3748	3867
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	-228	-251	-378	-254	-47	-26	
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)	0	47	14	0	0	0
	2. 特 別 損 失 (E)	1	202	0	1	0	0
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	-1	-155	14	-1	0	0
純 損 益 (C)+(F)	-229	-406	-364	-255	-47	-26	
累 積 欠 損 金 (G)	-596	-1002	-1366	-1621	-1668	-1694	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	840	1027	548	458	706	787
	流 動 負 債 (イ)	292	574	172	175	175	175
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
	差引不良債務 [(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ) (オ)	-548	-453	-376	-283	-531	-612
単 年 度 資 金 不 足 額 (※)	0	0	0	0	0	0	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	93.3	92.6	89.2	92.9	98.7	99.3	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0	0	0	0	0	0	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	86.6	87.0	86.1	88.7	94.8	95.8	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	60.1	60.7	60.9	60.2	52.9	52.2	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0	0	0	0	0	0	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の 資金不足比率	0	0	0	0	0	0	
病 床 利 用 率	76.1	77.9	78.0	79.9	83.6	89.3	

(※)N年度における単年度資金不足額については、次の算式により算出すること。

○「N年度 単年度資金不足額」=(「N年度の不良債務額」-「N-1年度の不良債務額」)

・不良債務額が負の数となる場合(不良債務が発生しない場合)においても負の数で上記単年度資金不足額を算出すること  
例)「22年度単年度資金不足額▲30百万円」=(「22年度不良債務額▲20百万円」-「21年度不良債務額10百万円」)

団体名 (病院名)	上市町 (かみいち総合病院)
--------------	-------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 入	1. 企 業 債	45	527	27	27	27	30
	2. 他 会 計 出 資 金	21	61	104	127	134	138
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	0	0	0
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	4	3	53	3	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	1	1	7	0	0	0
	収 入 計 (a)	67	593	141	207	164	168
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	67	593	141	207	164	168	
支 出	1. 建 設 改 良 費	49	556	42	97	32	32
	2. 企 業 債 償 還 金	267	306	219	342	354	359
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
支 出 計 (B)	316	862	261	439	386	391	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	249	269	120	232	222	223	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	249	269	109	232	222	223
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	11	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0
計 (D)	249	269	120	232	222	223	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	

1. 複数の病院を有する事業にあつては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
2. 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	( ) 387,300	( ) 370,697	( ) 289,844	( ) 325,187	( ) 329,559	( ) 316,242
資 本 的 収 支	( ) 21,410	( ) 65,188	( ) 107,064	( ) 180,013	( ) 136,671	( ) 137,540
合 計	( ) 408,710	( ) 435,885	( ) 396,908	( ) 505,200	( ) 466,230	( ) 453,782

(注)

- 1 ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰入金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。